

事務事業名		シカ防護網普及事業		☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業	
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興					
	基本事業名	01 農業経営の安定化					
根拠法令				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成16 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01 06 01 09 02	
所属	部課名	農林水産部					
	係名	林業係	電話 44-2111 内線 121				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 集落周辺に棲みつクニホンシカが増加しており、農作物被害が後を立たない状況である。また、カモシカによる被害も広範な地域にわたっている現状である。 市では、シカ・カモシカから農作物被害の軽減を図るため、農作物被害を受けている市内在住者に対し、シカ等防護網を有償で配布している。 事業内容は、防護網普及事業費の、1/3を設置希望者が負担するものであり、2/3を市で負担している。配布された防護網(5反を限度)は、購入者において、被害農地等へ個別に設置している。 主な業務内容 委託業者との契約、 広報紙による周知、 募集の受付、 購入者へ通知と納付書の配布、 配布状況の確認、 支払事業費は、委託料から支出される。							
				全体計画(期間限定複数年度のみ) 総投入量 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) ・シカ等防護網を670反配布した。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr> <td>ア 配布反数</td><td>反</td></tr> <tr> <td>イ 防護網設置距離</td><td>m</td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 配布反数	反	イ 防護網設置距離	m	ウ	
名称	単位								
ア 配布反数	反								
イ 防護網設置距離	m								
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・シカ等防護網を配布する。									
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・シカ・カモシカ被害を受けている農家等でシカ防護網を必要とする人	<table border="1"> <tr> <th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr> <td>カ 防護網希望者数</td><td>人</td></tr> <tr> <td>キ</td><td></td></tr> <tr> <td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 防護網希望者数	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 防護網希望者数	人								
キ									
ク									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
・シカ等防護網を必要とする人のシカ・カモシカ被害が少なくなる。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr> <td>サ 市内のシカ・カモシカによる農作物等被害額(防護網受給者の被害額は把握していない)</td><td>千円</td></tr> <tr> <td>シ</td><td></td></tr> <tr> <td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 市内のシカ・カモシカによる農作物等被害額(防護網受給者の被害額は把握していない)	千円	シ		ス	
名称	単位								
サ 市内のシカ・カモシカによる農作物等被害額(防護網受給者の被害額は把握していない)	千円								
シ									
ス									
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
・農産物が安定して高く売れる。									

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円	892	856	867	878	1,877	622
			一般財源	千 円	1,900	2,142	1,680	2,247	3,069	1,010
			事業費計 (A)	千 円	2,792	2,998	2,547	3,125	4,946	1,632
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	100	100	100	100	100	100	
		人件費計 (B)	千 円	400	400	400	400	400	400	
	トータルコスト(A) + (B)			千 円	3,192	3,398	2,947	3,525	5,346	2,032
活動指標		ア	反	892	658	667	670	935	324	
		イ	m	44,600	32,900	33,350	33,500	37,400	16,200	
		ウ								
対象指標		カ	人	306	237	257	242	396	227	
		キ								
		ク								
成果指標		サ	千円	10,467	19,002	18,118	18,800	18,700	18,700	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0542	事務事業名	シカ防護網普及事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・平成15年度までは、「シカ防護網貸与事業」として、市が無償で市内農業者名簿登載者に防護網を配布する事業を行っていたが、シカ・カモシカによる農林作物への被害が後をたらず、被害が拡大していること、里ジカ化が進み、被害が広範囲に及んでいることから、広く一般住民を対象とし、平成16年度から開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・シカ・カモシカからの農作物被害軽減を図るため、さまざまなシカ被害防止事業を展開しているが、依然として被害が後を絶たず、市内全域において防護網の需要が高い状況である。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・特定地区の農地に限らず、市内全域に被害が及んでおり、多くの住民より防護網にかかる事業の充実が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ ・シカ・カモシカによる農作物被害が減れば、農家の安定した農林作物の生産及び供給につながり、農業経営の安定化に結びつく。その結果、農林業の振興が図られる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ ・シカ・カモシカ被害を防止する適切な措置を講じなければ、農業収入の減少及び農家の生産意欲の低下につながるため、市において積極的に関わっていかなければならない。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・対象であるシカ・カモシカ被害を受けている農家等で防護網を必要とする人に対し、防護網を配布して被害の軽減を図る事業であり、対象、意図とも妥当。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ・事業の継続により、シカ・カモシカによる農作物被害を受けている市民の農業経営安定等を図ることができることから、引き続き事業を実施していく必要がある。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ ・防護網の設置など、適切な除根措置を講じなければ、シカ・カモシカ被害の拡大を招き、農業収入の減少及び農家の生産意欲の低下につながり、農林業振興の妨げとなる。よって、廃止・休止はできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] ☒ 他に手段がない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ ・防護網の配布を受けた市民が、それぞれ必要な被害箇所を設置できる事業は本事業のみであり、他事業との統廃合はできない。
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) ・現時点で事業費を削減することはできないが、事業の継続によって農作物等の被害が大幅に減少すれば、実情に応じて事業費を削減することは可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) ・希望取りまとめ、配布反数の決定、通知業務など、業務所要時間は適切であり、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ・受益者は、事業費の1/3(5反が限度)を負担しており、応分の負担と考えられる。農業振興を図る上で、シカ被害対策は市の重要課題であり、市が事業費の2/3を負担することは適正である。

事務事業ID	0542	事務事業名	シカ防護網普及事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・申込数が多く配布数を調整したため、一部で希望反数を配布できなかった人がいたものの、概ね希望通りの反数を配布することが出来た。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・シカ・カモシカによる農業被害額は毎年変動するが、集落周辺に棲みつくニホンジカの増加に伴い、被害額も増加する可能性が高いことから、今後も事業を継続実施し、事業成果の維持を図る。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
